



## 【第二部】 講演会

# 『町内会長日記』

～町内会等の組織の  
担い手・後継者問題に関連して～

中日新聞社会部記者 鈴木 龍司 氏

### ◆◆ 廃止は運命？自ら会長に【第1回】 ◆◆

「町内会長日記」の連載開始は、今から約2年前、町内会長に就いて2か月後くらい。せつかく会長になったし、自分が直面していることや感じていることは、どこの地域にも共通してそうだと思うから。

以前までの自分の町内会は、会長等の役職を同じ人が長く続けている状態。10年程会長を務めた人が退任後、妻が二期4年務めた。しかし、次の後任は1年で転勤となり、会長不在で町内会存続が危ぶまれる状況で打診があった。

当時（令和3年頃）の自分は、コロナの感染拡大によりオンライン勤務が増え、家にいる時間がかつてなく多く、自分と家や地域との繋がりが薄く、自分が浮いている感じがしていたため、いい機会になると思って引き受けた。

### ◆◆ 低い加入率、打開策は ◆◆

町内会の加入率は6割台。何故入らない人がいるのかというのを分析する必要がある。

#### 非加入の理由

- ・忙しく、活動に参加できない（27.5%）
- ・加入のメリットがわからない（24.2%）
- ・どのような活動があるか知らない（20.8%）
- ・役員に選ばれても活動できない（18.8%）
- ・ご近所づきあいがわずらわしい（14.8%）

※複数回答

右は、名古屋市の市政アンケートより、町内会に非加入の理由。

「忙しい」「関われない」と言っている人が多く、負担の面を変える必要があるとわかる。また、町内会の「メリットや何をしているか分からない」という人も多いので、町内会の活動や意義を伝えることができると良いだろう。

総会で役員たちへ所信表明をとして下図の考え方を示し、何とか楽しくやれるとよいと考えている。【第7回】

しかし、現実には、住民の関心は低く、組長（棟委員）が空白のところもあるし、仕事との両立が難しく、自分自身の後任がないこと等問題があり、色々しているところ。

#### 【私の考え】

町内会長・鈴木龍司

理想：程よく、無理なく、意味ある町内会

##### 1 役割

＝町内会は親睦団体。過度の負担は避ける。本当に必要なことをできる範囲でやる

##### 2 見える化

＝「何をやっているか分からない」という人への広報

##### 3 引き継ぎ

＝役員・棟委員の後任探しをその人だけに任せない。どんな仕事があるのか、整理して住民に周知。誰でもできるマニュアルを強化

### ①助っ人募集【第25回】

町内会費の集金・集計・銀行振込や学区への分担金支払い等を、会計一人に負担が集中していた。そこで、去年から会費でお茶菓子を用意して、チラシで呼びかけをしたところ、10人くらい来てくれた。

他にも、防災グッズ夏祭り中止の代替で記念品の全戸配布を募集したところ、すぐに終わることができた。

### ②フレンドシップ制【第39回】

役員でなくても、町内会の総会や会議、まち掃除等に参加してもいいようにした。長く町内会に携わってくれた人が退任した後にも関わってもらえると良い。

こうしたことのお陰か、「団地に知り合いがいると良い」と思い、このくらいの負担ならできる」と言っ、この春には副会長と会計が30、40代の人に若返った。

### ◆◆ 変化の兆し、新たな視点や手法を ◆◆

内閣府の調査では、コロナ感染拡大前と比べて仕事の重要性を感じるようになった人より、家族や社会の重要性を感じるようになった人が多いことが分かった。

町内会に無関心な人もいるが、一部の人達はそうではないので、そういう人達を発掘し、担い手にできると良い。

また、コロナの行動制限がほぼ解除されても、オンライン勤務は今後も続けられそうなので、「忙しくてできない」という状況が少し変わってくる可能性がある。

### ①子ども食堂に手伝いに来ている親子【第9回】

父親は職場の飲み会がなくなり夜時間ができたため、娘は大学入学してもオンライン授業でサークル活動もできず、友達作りが難しく地元で繋がりが欲しかったため。

### ②プロボノ【第54回】

プロボノとは、職業上持っている知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動で、最近若い人たちに流行っている。例えば、機関誌をもっとおしゃれなデザインにするのを頼む等、接点があればWin-Winになれる。

### ③女子高生の町内会長役員【第31回】

和太鼓を世代間で繋いできている地域であることもあり、順番にそうしたものをやるのが根付いていた。子供の内から接点を持って巻き込んでいくことも大事な視点になる。

### ④オンライン化【第11回】

市の推進モデル学区に東志賀学区が指定され、オンライン会議やLINEグループの活用等が進められ、高齢な人も参加して練習をしている。対面形式の会議の方が良いアイデアが出るという意見があり、基本的には対面形式だが、オンライン併用の会議だと、仕事で欠席しても、後から必要な部分を見るなどできるので、手間はかかるが便利。

### ⑤守山区上志段味での取り組み【第43回】

上志段味の町内会で、区画整理で増えた大勢の若い新住民向けに、役員が何とかホームページを作ったものの、誰も見てくれなかった。ホームページ作成について回覧板で

募集したら、女性3人が立候補してくれた。

彼女達は、育児休暇で自分の技術を試す場が無いとか、仕事だと自由にデザインできないとかの理由。今のホームページはおしゃれなデザインになって、町内会の人達からも喜ばれ、それが嬉しいようだ。また、町内会のLINE公式アカウントを作成し、地域活動や助っ人募集等の情報をLINEで発信し、参加はボタン一つで登録できる仕組みを構築し、現在140人くらいが友達登録している。

役員は重たいが手伝いならできるという人を取り込むことができおり、全国から視察が来ている。

### ◆◆ 見える化①「町内会長日記」 ◆◆

見える化のために、例えば、民生委員の活動【第32回】や防犯パトロール【第14回】などを紹介している。

読者からは沢山感想を貰っており、半分くらいは同じような悩み等だが、町内会へのマイナスイメージや時代遅れだといった意見ももらう【第26回】。しかし、地域の仕組みは共助で成り立っており、名古屋市の制度だと、町内会費からPTAや子供会、地域の子どものスポーツチーム等に助成金を出している【第27回】。町内会に入らない人も、町内会の恩恵を受けており、全く受けない人は殆どいないのではないかと。それなのに、「知らない」「関係ない」と言って入らない人が居るのは勿体ないこと。

自分の学区の消防団は、欠員が出ており、年配の人が主。消防団の人が災害時に活動できなかつたら非難されるだろうけど、それは消防団員達の責任なのか【第20回】。自主防災会も、80代や90代の人が救護班長や炊き出し班長で、何かあったとき、「自主防災会費払っていたのに何もやってくれない」という人たちが出るだろう【第16回】。

本当にそう言えるのか。言えないなら、皆で考えようとするのが大事ではないか。

建築協定も紛争で盛り上がっている時は問題ないだろうが、続ける中で「全然活動してないよね」と他人事のようにになっていくよりは、「建築協定はやっぱり必要だ」と上手く伝えられるとよいと思う。

### ◆◆ 見える化②「東志賀ヒーローズ」 ◆◆

「東志賀ヒーローズ」は、2年前から始めた学区の地域新聞。学区長より、地域活動の団体同士の接点が無いことや、若い世代が地域活動に理解・関心が無いため新聞が作れないかと相談を受けたのがきっかけ。子供のスポーツチームを取り上げ、学区で助成金を出して応援していることなど、地域のことを知ってもらうために発行している。

当初は回覧板と掲示板だけで始めたが、回覧板だと町内会に入っていない人に回らない。当時、東志賀小学校の校長が校長室の近くに掲示してくれたことを知って話をしたところ、「親にも読んでもらいたい」と、全生徒に配布を始めた。その後、口コミで幼稚園や保育園でも子どもに配りたいと広がり、今では月約1,000部まで増えた(月1回発行)。

関心を持たせるためタイトルイラストを募集しており、採用された本人だけでなく、親や祖父母にも喜ばれる。(右上のイラストは令和5年5月号のもの)

また、消防団員の新規加入や、神社の神事は氏子総代がやってくれること等を記事で紹介することで、将来、読んだ人にそうした役が回ってきた時、引き受けてくれるき



かけになればと思っている。

個々の地域団体を連携させつつ、皆で問題を考えてもらえるよう、それぞれにある問題に対して意見募集している。防犯パトロールやまち掃除も住民皆で行い、皆に知ってもらい、その手ごたえがわかるように記事で紹介することで、それぞれの活動を応援していけたら良い。

### ◆◆ 繋がり、連携し、互いに学ぶ ◆◆

町内会長が抱える課題は、一人で解決できず、役員でも解決できないものがある。そもそもそれは、町内会の課題というより住民全体の課題なので、地域の色々な団体や志のある人と協力し、色々なアイデアを出せば、状況は変えていける可能性はある。

#### ①町記者講座開催【第38回】

「東志賀ヒーローズ」の編集が個人の負担にならないよう、文章の書き方を皆で勉強し、皆で編集できるようにしていこうとしている。

#### ②神社の危機【第60回】【第61回】

氏子総代に社殿や塀が傾いている等の連絡を貰うが、氏子総代だけに負担させたままでは、更に担い手が減る。

神社のことを知ってもらうために、境内でマルシェを開催し、地域のお母さんたちに店を出してもらった。すると、塀が危ない等の話が出展者から出たので、神社はどういう仕組みで維持されているのか知ってもらった。

今年もマルシェを予定しているので、皆で話し合う体制を作り、最終的な責任は氏子総代が負うことになるが、神社をどう活用するかといったことも話し合っている。

#### ③市民団体・NPOとの連携【第36回】

繋がりが必要なのは、若い人たちも同じで、NPOで防災活動している人や町内会副会長、子供会会長等が入るLINEグループがある。それぞれ抱える課題を相談・助言し合う。

違う組織間でも繋がると孤独感は薄れる。

#### ④会議の工夫【第70回】

おもちゃや絵本、お菓子を持ち寄り、子供が遊べるようなマットを敷いて会議をしている。子供が小さいから無理だと言われることがあるが、親が会議している間に子供も遊べるから参加しやすくなる。

#### ⑤おやじの会のナゴヤ連合【第69回】

「おやじの会」が学区を超えて連合を立ち上げた。互いの子どもたちが喜ぶ企画を見に行き行って勉強しあったり、居酒屋で集まって飲んで日頃の愚痴を言ったりしている。

#### ⑥事業所との連携

昔は商店街の店主などが地域の要の役等を務めてくれていたところも多かったが、最近はそうでもない。社会貢献したい企業も増えてきているものの、寄付しても喜ばれる実感が得られず、地域で何が必要とされているのか、ニーズをマッチングできると何かいいのではないかと【第22回】

また、中村区が企画して、中小の事業所と地域活動の人達の連携ができないか話し合う場が設けられた【第23回】

### ま と め

町内会長を引き受けて、上手くいかないことも多いが、地元への愛着が湧き、まちに誇りを感じられるのは良かった。建築協定の活動も同じではないか。

職場と家庭以外の居場所と経験ができることが凄く贅沢で、それが自分のモチベーションに繋がっている。

記者としても、以前は「町内会は今苦境にある。時代に合わせて変化を」など表面上で浅かったが、リアルな日常や現場があることで、自分のプラスになっている。これは、記者に限らず、地域の間人関係が家族との関係や仕事にも跳ね返って、その良さが循環していると近頃言われている。

コロナの影響はあったが、繋がりを重視する風潮やオンライン勤務等追い風となっていることもある。「忙しい」「関心が無い」と言われていたが、その前提が少し変わりつつありそうなので、この機を逃さないようにしたい。

しかし、地縁組織の担い手不足、高齢化、固定化といった積年の課題の打破は容易ではない。

単一組織ではなく連携が大事だと思う。この建築協定連絡協議会もそういうことなのかなと思う。また、情報発信や関わりやすい組織体制づくりをできる範囲で行うことが大事となる。

地域活動は任意なものの、大変なことがあっても心意気で活動しており、町内会長就任時に示したように、程よく、無理なく、ぎりぎりでも楽しいと言える、活動を継続していけるのではないかと思います。

#### 『町内会長日記』はこちらから

中日新聞『町内会長日記』  
<https://www.chunichi.co.jp/local/aichi/chounaikai>



#### 『東志賀ヒーローズ』はこちらから

名古屋市北区社会福祉協議会HP『東志賀学区』  
<https://kitashakyo.jp/wp342/community/schoolarea/higasisiga/>

## お知らせ

### ■協定の現況 (令和5年8月末現在)

地区：43地区 協定者：約6500人 面積：約123万㎡ (全市域の約0.38%)

#### ■協定地区の紹介

(令和4年9月～令和5年8月分)

##### ○更新地区

《桐林地区》

- ・所在地 千種区桐林町地内
- ・認可日 令和5年8月18日
- ・期間 5年

##### ○自動更新地区

《みどりヶ丘北地域》

- ・所在地 緑区ほら貝二丁目地内
- ・認可日 令和4年11月9日
- ・期間 5年

#### ■更新を迎える地区

(令和5年9月～令和6年8月予定分)

##### ○更新地区

《徳川山町地区》 期限 令和6年3月1日

##### ○自動更新地区

《御器所三丁目天地・御所・洲原3番地区》  
期限 令和5年9月8日

《なるこ東地区》 期限 令和6年5月16日

《徳川一丁目前ノ町地区》

期限 令和6年6月16日

#### ■隣接地加入状況

(令和4年9月～令和5年8月分)

※建築協定隣接地から建築協定区域になった土地の件数です。

《山添町地区》 2件

《みどりヶ丘東地域》 3件

《みどりヶ丘南地域》 2件

### ◇◇ 編集後記 ◇◇

今年の総会是对面式のみでしたがいかがだったでしょうか。総会第2部は好評に終わることができました。ご意見、ご要望等ありましたら、お寄せください。(編集委員 小野寺秀久 野村哲)

#### 令和5年度 名古屋市建築協定連絡協議会役員

役職	氏名	地区名等
会長	榊山 不二夫	滝子町(昭和区)
副会長	永江 征治	徳川一丁目前ノ町地区(東区)
副会長	矢部 育男	なるこ東地区(緑区)
幹事	小野寺 秀久	桐林地区(千種区)
幹事	野村 哲	洲山町3丁目町内会地区(瑞穂区)
幹事	八田 孝夫	みどりヶ丘東地域(緑区)
顧問	鬼頭 國二	みどりヶ丘東地域(緑区)
顧問	住宅都市局建築指導部長	

#### 令和5年度 協議会活動日程予定

活動内容	実施時期
第1回役員会	令和5年4月
第28回総会	令和5年5月
機関紙づくり(第32号)	令和5年6月～7月
第2回役員会	令和5年7月
機関紙の発行(第32号)	令和5年8月
第3回役員会	令和5年8月
第4回役員会	令和5年10月
勉強会・全地区委員長会議	令和5年11月～令和6年3月
建築協定PR活動	令和5年11月～12月
第5回役員会	令和6年2月